

今日から 自転車、 はじめよう。

皆さんは、普段の暮らしのなかで自転車に乗る機会がありますか。通勤・通学などで毎日ペダルを漕いでいる人もいれば、休日限定のサイクリストもいることでしょう。また、もしかすると学生時代以来自転車に乗っていないという人もいます。

自転車は、経済性に優れていることに加えて、健康増進や密閉・密集・密接の三密を避ける感染症対策に適した移動手段として注目を集めています。

本市は、まち乗りに最適な平坦な市街地や海・山・川が織りなす変化に富んだ地形など、様々な自転車の楽しみ方ができる環境に恵まれています。この環境をさらに活かし、多くの人に自転車を活用してもらうために、市では本年3月に「沼津市自転車活用推進計画」を策定しました。自転車通行空間の整備やレンタサイクルの運営など、市民の皆さんはもちろん、沼津を訪れる観光客にとっても自転車を快適に楽しめるまちづくりを進めています。

日常的に自転車を利用することは、健康増進、まちの魅力の再発見など、皆さんの暮らしの質の向上に役立ちます。5月は自転車月間、5月5日は自転車の日です。この機会に、皆さんも自転車で沼津のまちに漕ぎ出してみませんか。



シンプルに楽しむ。
気軽に走り出す。

沼津に住んでるなら、
なおさらですね。

自転車仲間も募集



静浦の海沿いで、ビギナーからプロレーサーまで、様々なサイクリストが集まる「CELESTIC&BIKE」を営む小野剣人さんは大の自転車好きで、自転車を思う存分楽しめる沼津の環境に魅せられたサイクリストの一人です。そんな小野さんに自転車に乗る魅力や自転車を始める際のポイントを伺いました。

五感で楽しむサイクリング

天気予報を確認し、サイクリング日和だと思えば早朝5時に起床して、サイクリングを楽しんでからお店を開けることもあると話す小野さん。朝のひんやりとした空気が気持ちいいんですよ。山の緑に潮の香り、鳥の鳴き声など、目的地はもちろん、道中でもその土地ならではの魅力を五感で楽しむことができるんです」と笑顔で語ります。移動手段としてだけでなく、自分のペースで走ることができるため「同じ風景でも車窓から眺めるのと、自転車を漕ぎながらでは別の感じ方ができるんです」と教えてくれました。

走りやすさが沼津の魅力

瀬戸内海のしまなみ海道、富士山が眼前にそびえる朝霧高原など、名だたるサイクリングルートを走ったことが

あるという小野さんは「沼津の海岸線はビギナーにも優しく、山側に入れば上級者も楽しめる優れたコースなんですよ」と胸をはります。特に口野放水路交差点から南へと続く駿河湾最奥部の海岸線は、道路の整備が行き届いていることに加えて、サイクリストに対する地元の人々の理解もあることから、気持ちよく走ることができる環境が整っている「走りやすいコース」だといいます。

シンプルに楽しむ

小野さん流の自転車の楽しみ方は、「難しく考えないこと」だと話します。「歓声をあげながらペダルを漕いでいる子供たちって、ただ楽しいからだと思うんです。大人になっても、気持ちがいいから自転車に乗る、なんてシンプルに考えたほうが自転車と長い付き合いができると思います」と乗り続けるコツを教えてくださいました。



「沼津に暮らすなら、自転車に乗らないともったいない」。自転車愛溢れる小野さんが語るメッセージは、自転車を始める際のポイントといえそうです。気負わず、焦らず、自分の目的や体力に応じて、思い思いの楽しみ方ができる沼津で、皆さんも、まずは自転車で走り出してみましょ。